

## 第 2 回「避難指示解除に関する有識者検証委員会」フォローアップ会合

### 議事要旨

#### 1 日時、議事内容等

日時	平成 28 年 12 月 20 日（火） 14：30～17：00
場所	浪江町役場二本松事務所 2 階大会議室
構成員 出席者	吉岡 正彦（座長）、佐藤 秀三（副座長）、塚田 祥文、間野 博、阿久津 雅信、阿部 高浩、内海 ひとみ、大波 大久、岡 洋子、岸 眞、佐々木 敏、杉本 俊郎、鈴木 義雄
議事内容	1 浪江町除染検証委員会の検証結果報告 2 課題の進捗確認 3 その他

#### 2 議事

発言者	要旨
吉岡座長	前回 12 月 5 日は 16 の課題 4 つの柱のうち、インフラ復旧、生活環境整備、放射線対策について討論した。今日は除染について集中的にかつ丁寧に議論したい。そのうえで 1 月 5 日に全体とりまとめを予定している。
上野係長	資料 3・4 について前回議論による修正箇所を説明
ふるさと再生 戸浪課長補佐	<b>&lt;資料 5 除染検証委員会検証結果報告書を説明&gt;</b>
塚田 祥文	今回の報告書について、他との違いは地区ごとに行ったことと住民と一緒に検証したこと。防風林とか場所によっては線量が下がっていない所もある。宅地から 20m の範囲は生活圏であるため十分な線量率低減を環境省に要望する。（除染が）これで終わりではない。

鈴木 義雄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庭木を切ってほしい（環境省はいじれないという返事）。</li> <li>・建物内部の線量測定がされていないが。</li> </ul>
ふるさと再生 課白戸 本間副町長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庭木の伐採は線量が高い場合は個別対応する。</li> <li>・室内は東電のセンターに連絡すれば線量測定を行う。</li> <li>・建物内測定班や気がかり除染班(拭き掃除掃き掃除)などで対応。</li> <li>・ハウスクリーニング（予算 15 万円上限）。町が業者を紹介する。</li> </ul>
岡 洋子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書 p6 低減されていない箇所とはどこか。</li> <li>・ p7 仮置き場の周辺の状況は。</li> <li>・ p8 大柿ダム、大水が出たら大丈夫か。</li> <li>・ p9 未同意者への対応、連絡がつかない件数は。</li> </ul>
本間副町長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ p12 以下で各地区の状況をしめしている。学校、神社、ため池、やな場、それぞれに数値が大丈夫な所、高い場所もあるという認識で今後対応していく。</li> <li>・管理状況を週 1 回、月 1 回とかで定期的にモニタリングしているが、廃棄物が見えることで不安が生じている。中間貯蔵施設については環境省では東京オリンピックまでに半分は処理することを目標にしている。浪江町は量が多いので優先的と言っている。</li> </ul>
塚田 祥文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大柿ダムについては農水省でリアルタイム監視システムを作っている。町役場でも携帯電話でも見えるようになる。満水で水深 70 メートルあるため、底質が舞い上がることはない。</li> </ul>
ふるさと再生 課白戸 本間副町長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象件数 7574 件のうち、同意が 7430 件、未同意は 144 件で 2%。</li> <li>・連絡はついているが同意されていない状況。区長さんを通じてアプローチしている。</li> </ul>
佐藤 秀三	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政区長会でも、親しい人からも声掛けをお願いしている。</li> </ul>
内海 ひとみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣家が解体物件だと除染が終わっていないので、帰りたくても不安で帰れない。</li> </ul>
本間副町長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解体物件も数が多く順番待ちだが、優先して除染できるようには対応し</li> </ul>

	<p>たいので申し出て欲しい。未同意の場合は難しい。</p>
阿久津 雅信	<p>・フォローアップ除染の流れを教えてください。線量をこまめに測る人もいればそうでない人もいます。恒久的にやってほしいが、町民からの声があがらないとやらないのか。</p>
本間副町長	<p>・町は1ミリシーベルト以下を目指している。除染は恒久的に続ける。モニタリングしながら町・国で責任をもって行う。</p>
阿久津 雅信	<p>・文書などで示してほしい。</p>
復興推進課長	<p>・策定中の復興計画（第二次）で明記して取り組むこととしている。</p>
岸 眞	<p>・P7 国・県・町が一体となって、とあるが疑問視している。放射線量の基準が国は20ミリ以下、町は1ミリと共有できていないではないか。</p> <p>・安心して帰還できる線量とは。</p> <p>・里山再生の状況は。</p>
本間副町長	<p>・国は解除の要件のひとつとして20ミリシーベルト以下、町は長期的な目標として1ミリシーベルト以下としている、これはまさに町の命題である。県は知事が避難地域の再生、環境回復と言っている。言葉だけにならないように認識を共有していく。</p> <p>・すでに解除したところも判断基準は20ミリ以下だが19.18ミリという数値での解除ではなく高い所で年間5ミリを共通にしているのが目安。除染を同意していれば隣の家の囲いも行う。</p>
復興推進課長	<p>・里山再生モデル事業を県内10か所程度でやる予定で調整中。居住制限地域、避難指示解除準備区域内で比較的線量が高い場所になる。年内公表の予定。</p>
高野 一郎	<p>・これから春先に松・杉などの花粉が出るが線量は調べられるか。</p>
塚田 祥文	<p>・非常に少ないという結果が出ている。</p> <p>・事後モニタリングをして線量が高い場合はフォローアップ除染が実施されている。</p>

<p>鈴木 義雄</p> <p>ふるさと再生 課白戸</p> <p>塚田 祥文</p>	<p>・自分は酒田で最初に除染を行い終わったが、農地除染がうまくいっていない。代かきが出来ない。</p> <p>・大柿ダムのヘド口の除去は。</p> <p>・酒田行政区からの要望として 8 月末に環境省に提出、回答待ち。</p> <p>・ため池は町から要望があれば浚渫する。</p>
<p>大波 大久</p> <p>ふるさと再生 課白戸</p> <p>戸浪課長補佐</p>	<p>・山林・竹藪の線量が高い（川添地区）。掃いただけで地表を剥いていない。</p> <p>・道路の側溝も除染してほしい。枯葉が詰まる。</p> <p>・屋根の土嚢はどうするのか。</p> <p>・住宅周辺の山林(川添)は環境省に除染を求めていく。</p> <p>・道路の除染の進捗状況を確認する。(環境省)</p> <p>・震災時に東電が雨漏り対策で土嚢を置いた。屋根修理が済んでいない家には土嚢がある。環境省と相談する。JVとの協議では土嚢入れ替え・ブルーシートを張ることができる。</p>
<p>間野 博</p> <p>本間副町長</p>	<p>・P9 帰還困難区域であっても宅地に隣接する部分について対策を講じるとあるが。</p> <p>・町からの要望で方針に取り入れた事項。すでに始めている。</p>
<p>上野係長</p>	<p><b>&lt;課題の進捗確認&gt;</b></p> <p>資料 3.4 説明</p>
<p>吉岡座長</p> <p>阿部 高浩</p>	<p>議論が出尽くした。除染を確実により早く実現してもらうことに尽きる。</p> <p>・事業再開者の立場から一言。室内は線量計があるが戸外がわからず不安。若い職員の親からは勤務場所として避けてほしいと言われる。復興の姿をみたいという若手職員もいるので 3 か月半年での数値開示など検討を。</p>

宮口副町長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民にDシャトルという線量計を配布している。働いている企業の方にも配りたい。</li> </ul>
佐々木 敏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解除に向けて課題があることがわかった。町は治安が良い状況に回復してはいるが、犯罪0という場所はない。町民が帰還すると住民目線という防犯態勢ができる。</li> </ul> <p><b>&lt;その他&gt;</b></p>
上野係長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回は1月5日に報告書のまとめを行います。時間は10時30分から正午。その後、午後1時30分から座長、副座長から町長に報告書を提出していただく予定です。</li> </ul>
吉岡座長	<p>良い意見がたくさんでした。事務局でまとめて町民に周知してほしい。</p>